



主任 鷺尾 佑弥

(前編に続く)  
さくら株式会社創業メンバーとして、今日まで会社を支え続けてきた鷺尾佑弥。入社からの日々を振り返り、今、どのような思いを抱いているのだろうか。これまでの約10年間を顧みつつ、仕事や仲間たちに対する思い、そして今後の目標に迫る。

### さくらとともに、 一歩ずつ積み重ねて きた道のり

入社当初は右も左もわからず、すべてが手探りの状態。日々、与えられた仕事をこなすだけで一杯だった。「苦しい」と感じる日ももちろんあったが、そんなときに役立ったのは、自衛隊の厳しい訓練で身につけた忍耐力。みずから奮い立たせて前を向き、一つひとつの業務に向き合ってきた。知識の習得にも積極的に取り

組み、入社から現在までに手にした資格の数は10以上にのぼる。そうして、一歩ずつではあるが着実に歩みを重ねてきた鷺尾。自社工場における冷凍機ユニットの作製など、さくらがはじめて挑戦する業務にも携わってきた。ユニット作製は現在に至るまで継続しており、取得した資格を活かして溶接を行うなど、培ってきた技術を惜しみなく発揮している。

そして、いつしか主任を任せられ、現場全体をまとめる役割を担うようになった。責任の重さを痛感する毎日だが、信頼できるメンバーがいるからこそ、楽しく前向きに働けているという。

一つひとつの現場を地道に完成させていくうちに、いつの間にか会社も大きく成長。従業員数は3倍以上になり、受注量も増加した。福利厚生が充実し、組織としての基盤も強くなったのを実感しているという。

### 仲間たちとの 信頼関係と、 あたたかな思い

休日には、ゆっくりと睡眠をとるよう心がけている。疲れをリセットしたあとは、姪っ子たちと公園へ。元氣いっぱいの子どもたちは、何ものにも代えがたいひとときだ。

会社の車を掃除する日も多い。「全員で使うものだからこそ、皆が気持ちよく乗車できるように、きれいに保っておきたいのです」と言う鷺尾。そんな何気ない言葉からにじみ出るのは、仲間たちに対する優しさと思いやりだ。新型コロナウイルス感染症の影響で、社員が一同に会する機会は激減した。寂しくもあるが、そんなときだからこそ、心のつながりを大切にしていきたい……そう考えれば、節目ごとに集まって酒を飲み

かわしながらも、会社の未来について語り合ったことはなかった。だが、あえて言葉に出さなくとも、「全員が同じゴールを目指している」と確信できる。いくつもの現場をともに乗り越えてきた仲間たちとは、強い絆で結ばれているのだ。

### 仲間とともに未来へ

「一人ひとりが仕事を好きになり、いきいきと働けるよう、コミュニケーションを大切にしていきたいと考えています」。

持ち前の明るさを存分に発揮し、ムードメーカーとして、現場の雰囲気盛り上げていければ幸いだ。若手社員に望むのは、積極的なチャレンジ。離職率の高い業界ではあるが、諦めずに前進を続け、ともに会社を盛り上げていきたいと願っている。失敗を恐れず「当たって砕ける」の精神で、何事にも前向きに挑戦してほし



い。挑戦には、失敗もつきもの。そんなときには、臆せずに上司や先輩、同僚たちを頼れば良い。まわりを見回せば、力を貸してくれる頼もしい仲間たちが必ずいるはずだ。

主任として、部下や後輩たちの指導にあたる機会も増えた。みずからの若手時代と現在を比べると、指導方法も大きく変化したように思う。人に教えること、伝えることの難しさを感じる瞬間も多い。それでも、現場全体に細かく目を配り、メンバー一人ひとりの特性に合わせたアドバイスができるよう、力を尽くしていくつ

もりだ。一人ひとりの成長は、ひいては会社全体を飛躍させる大きな力となる。それを信じ、今後仲間たちと手を取り合って進んでいきたいと考えている。

明るい笑顔を絶やさず、今日も現場の最前線に立つ鷺尾。これからも力強く、さくらの未来を切り拓いていくに違いない。

### 企業情報

設立年：2012年4月  
年商：608,257,000円  
※2020年3月決算時点





# 鷺尾さんってこんな人!

7・8号の巻頭インタビューに登場していただいた鷺尾さんと親交のあるお二人に「鷺尾さんってどんな人?」かを、詳しく伺いました!

お仕事だけでなく、プライベートでも面倒見が良いという鷺尾さんとのエピソードとは……?



仙台工場 工場長  
おおさか だいすけ  
大坂 大輔さんより

左:鷺尾さん 右:大坂さん

## 鷺尾さんとの関係性

私の上司です。しかし、会社の寮で一緒に住み始めて7年程が経つので、もはや家族のような存在です。

## 鷺尾さんとの思い出

5年程前に、私が足を怪我してしまっていたことがありました。歩けない間、代わりに私の足となってくれたのが鷺尾さんでした。病院に迎えに来て、「無理しないで」と言ってくれたことを覚えています。当時住んでいた寮は2階だったのですが、文句1つ言わずに私を背負って階段の上り下りをしてくれました。

## 鷺尾さんを一言で表すと?

「しっかりしたお調子者」です。仕事に関する指摘や上下関係には厳しい面がある一方で、普段はユーモアに溢れたお調子者。メリハリのある人だと思います。寮に帰ると、冗談を言いながら手際良く料理を作ってくれたり、身の回りの世話をしてくれたりします。

### メッセージをお願いします!

これからも変わらない、そのままの鷺尾さんでいてください。そうすれば、若い世代もついてきてくれると思います。日々一緒に成長していきましょう!

## 鷺尾さんとの関係性

いつもチームを仕切ってくれる、たくましい上司です。私が2018年11月に入社してすぐの頃からお世話になっています。強面な見た目のせいか、入社当時はあまり話することができなかったのですが、今ではプライベートでも飲みに来て行ってもらう程、気軽に話せる上司です。

## 鷺尾さんとのエピソード

溶接中に、鷺尾さんが私に電気をビリッと当ててイタズラをしてくることがあります。私は鷺尾さんが近づいて来る度に「またイタズラをされるんじゃないか?!」と警戒しています(笑)さすがに「楽しく働くこと」も motto にされている鷺尾さん、おかげでいつも楽しく仕事ができます!

## 鷺尾さんを一言で表すと?

ズバリ「仕事に熱い男」です!プライベートではおちゃらけキャラの鷺尾さんですが、仕事中は熱心にご指導をさせていただきます。鷺尾さんは会社の中でもトップレベルで溶接が上手なので、日々のアドバイスがとても参考になっています!



たかはし なお  
高橋 奈緒さんより

### メッセージをお願いします!

いつか鷺尾さんを超えられるように頑張ります!これからもビシバシご指導をお願いします!

# 歴史の偉人名言

## 武田信玄

名言には、モチベーションアップを促したり背中を押してくれるような力があります。

今回は、織田信長が恐れるほどの大きな存在感を放っていたという

戦国武将・武田信玄の言葉を紹介します。

数百年前の言葉がいまだに言い伝えられていることもあり、そのエッセンスは現代社会にも応用することができるでしょう。

人は城、人は石垣、  
人は堀、  
情けは味方、  
敵は敵なり。



意味: 人材こそが強固な守りになる。情けは人の心をつなぐことができる。しかし仇が多ければ結局は国を滅ぼすことになってしまう。

信玄はリーダーの資質として、人材を見極める力が重要と考えており、実際に身分に関係なく力を持った家臣を優遇していたといえます。武田二十四将にも数えられる高坂弾正は、もともとは百姓の身分であり、同じくキツキ戦法で有名な軍師・山本勘助も一介の浪人だったそうです。また、戦の前には必ず家臣団を集めた合議制の軍議を行い、家臣の意見に耳を傾けたうえで、政策を決定していました。こうした家臣団が一丸となった体制こそが、武田家の強さの秘密だったのかもしれませんが。逆に跡取りである武田勝頼は、家臣団をまとめられずあえなく織田徳川連合軍に敗れています。こうした事実からも、リーダーと部下の信頼関係の重要性が伝わってきます。

## 武田信玄とは

あの織田信長が最も恐れていたと言われ、徳川家康を完膚なきまでに打ち破るなど、後に天下を統一する2人の名将に多大な影響を与えた武将・武田信玄。「武田の赤備え」と恐れられ、戦国最強と名高い騎馬軍団を中心に、生涯で70戦以上を戦い、負け戦はわずかに3戦という常勝軍団を作り上げました。甲斐(現在の山梨県)の国を平定し、天下統一へと動き出した矢先、京へ向かう道半ばで病に倒れ、天下統一には至りませんでした。しかし、もし信玄の寿命がもう少し長ければ日本の歴史は変わっていたかもしれません。